

## 防火薬液 フレームカット

### 特長

フレームカットは、屋内可燃物を対象としたアクリル樹脂エマルジョンに発泡剤、防炎剤、難燃剤などを配合した着色型の発泡性防火塗料です。この製品はA液とB液の組み合わせにより、防火塗膜が構成され、A液を塗り乾燥後、B液を塗り重ねます。

フレームカットは、その塗膜に炎が当たると100~200倍にふくれ、被塗面と炎の間に発泡炭化層を作り、熱の伝導を防ぐと同時に不燃性の窒素ガスを発生して酸素との接触を妨げ、被塗面の燃焼を著しく遅らせます。

### フレームカットの標準塗装仕様書

塗装工程	使用材料、調合割合	塗装間隔	塗布量(kg/m <sup>2</sup> )
素地調整	素地面を良く乾かしゴミ、油などを除去し、清浄にする。ヤニ、スス、シミなどの抑えには、「しみストップ」を1~2回塗装する。		
パテかい	凹凸部は、必要に応じ、パテなどで平坦にする。		
研磨紙ざり	研磨紙#180~#240で滑らかにする。		
下塗り	フレームカットA液 100 水 5~10	5時間以上	0.20
上塗り	フレームカットB液 100 水 5~10		0.15

1. フレームカットの防火性能は、塗布量によって左右されるので、A液、B液の合計塗付量は最低限 350g/m<sup>2</sup> 必要です。
2. 塗装方法は、水で希釈するだけで、普通はハケやローラーで塗ります。
3. ハケ塗りの時は、水性刷毛（平刷毛）が適しています。
4. ローラー塗りにには、中毛のローラーが適しています。

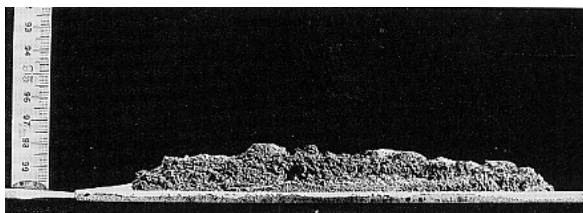
### 荷姿及び色

フレームカットA液	20kg（石油缶）
色：白及び淡彩	4kg（丸缶）
フレームカットB液	20kg（石油缶）
色：白及び淡彩	4kg（丸缶）

### 一般性状

項目	種類	
	A液	B液
容器の中での状態	硬い塊がなく一様になる。	
作業性	ハケ塗り、ローラー塗り、吹付け塗りの作業に支障がない。	
乾燥時間(23℃)	5時間	5時間
コンシステンシー(23℃)	97KU	97KU
比重(23℃)	1.32	1.32
塗膜の状態	しわ、むら、臭気、粘着、変色及び上乾きなどの異常がない。	
乾湿繰返し試験	温度 20±3℃、湿度 90±5%の容器中に鉛直にして、19時間置いた後、取出して 50±3℃の乾燥器中に5時間置く。この操作を3回繰返し行い塗膜に著しい変化が認められず判定基準に適合する。	
耐湿試験	温度 20±3℃、湿度 90±5%の容器中に鉛直にして、72時間置き塗膜に著しい変化が認められず判定基準に適合する。	
防火試験	防火薬液の加熱試験による試験結果が判定基準に適合する。	

防火薬液の試験基準（旧JIS-K-5661及び消防予63号）にて加熱した板の断面図写真



発泡膜厚：2.2cm 膨張倍率：約150倍

